

平和新聞 東京版



2023年1月5日 東京版第121号
1950年12月16日 第三種郵便物認可（日本平和委員会）
東京版発行 東京平和委員会
〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階
電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487
E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp

2023・卯年 跳躍の年に 代表理事から「あいさつ」

新年おめでとうございます
年頭に当たり、東京平和委員
会代表理事から《新年の
一文字》と抱負を語って
いただきました。

井出由美子代表理事

新年に向けての一文字は
「気」です。
うつむき加減を奮い起こ
すのも、「気持ち」次第だ
と思います。



昨年は驚く事ばかりの一
年でした。安倍元首相や自
民党の、宗教を悪用した統
一協会との密接な関係が次々
と暴露されました。その前
代未聞の悪事が白日の元に
晒されてもその意味を理解
できないのか、なんの謝罪
もないまま、安倍の二の舞

の悪事を重ねて行く岸田自
公政治に呆れ果てているう
ちに年が明けました。

軍拡予算はどんどん積み
上げられ、その予算を国民
に負担してもらおうと平然と
言って憚らない岸田政権。

敵基地攻撃能力だとか先
制攻撃だとか、きな臭い言
葉ばかりが飛び交い、マス
メディアがそれを後押しす
る。

ステルス戦闘機、攻撃型
空母、巡航ミサイル、F35・
F15戦闘機、オスプレイ等々
に莫大な費用を注ぎ込む政
府に、国民の声を聞く姿勢
は見当たりません。

燃料費や食料費に事欠く
生活を強いられて寒さに震
え、身体を壊しても医療に
かかれず病気を重くする人
たちがいて、子どもたちに
満足な食事も与えられない
人がいる。痛みは全て貧困
に喘ぐ低所得者に押し付け
る。そんな悪代官たちに、
今年も一日も早く退いても
らいましょう。
悪政が進むほど平和委員

会も忙しくなっています
が、自分にハッパをかけな
がら、今年も微力ながら頑
張ろう：と漠然と思っ
ています。

荻野孝一代表理事

新年に向けての一文字は
「葦」です。
昨年の11月22日、日本平
和委員会顧問の畑田重夫先
生が残念ですがお亡くなり
になりました。生前、先生
は被爆50周年の春に「自然
の春は太陽が呼ぶ、社会の
春は人間がつくる」と述べ
ています。

フランスの哲学者パスカ
ルは「人間は考える葦であ
る。人間は自然の中では葦
のように弱い存在である。
しかし人間は、頭を使って
考えることができる。考え
ることこそ人間に与えられ
た力である。」ということ
を述べています。

戦争をするのも人間、戦
争を止めることもできるの
も人間です。戦争の犠牲に
なるのは常に弱い立場の子



どもや女性、一般市民です。
私たちが求めるものは対
話外交です。一日も早く戦
争を終わらせることが世界
中の願いです。

ウクライナ問題に乗じて
岸田政権は、あれよ、あれ
よ、の間に国家安全保障戦
略、国家防衛戦略、防衛力
整備計画を打ち出し、米軍
と一緒に戦争国家づくりに
暴走しています。

かなりヤバイ時代に入り
ました。いまこそ、若者の
出番です。岸田首相は、防
衛費は「今を生きる国民の
責任」と本音を暴露。私た
ちも本気で憲法を盾に頑張
りましょう。

日本平和大会 東京から約190人参加

11月26・27日に、オンラ
イで開催された2022年
日本平和大会は、1200
アクセスがあり、約400
0人が参加しました。東京
では、11カ所で視聴会が取
り組まれ約100人、個人

視聴と合わせると約190
人が参加しました。

今年の大会は、国際的に
はロシアによるウクライナ
侵略、国内では12月下旬に
向けた安保関連3文書の改
定という、軍事態勢を強化・
拡大する危険な動きが強ま
るもとで開催されました。
内外ともに平和をどう守
り・つくるのかが問われる
大会となりました。

二日間の会期を通じて、
安保関連3文書改定の危険
な内容を学び、それを許さ
ないたたかいを強め広げよ
うという全国的な意思統一
がなされ、飛躍の場として
成功しました。

若者からは、「大会を通
して、政治にもっと関心を
持たなくてはならないと危
機感を覚えました。また、
無知であることが平和をお
びやかしてしまいかもしれ
ないと思いました。まず
『知る』ことが出来て本当
に良かったです」との感想
がよせられています。

◇ ひの平和委員会では、
安保関連3文書の閣議決定
など重大な情勢の転換を学
ぶ大事な学習の機会と呼び
かけて、初めて日本平和
会オンライン視聴会にとり
くみ、参加を呼びかけ、開
会集会に5人、分科会に6

人、閉会集會に8人が参加し、会員を中心に11人が参加し、1名が入会しました。

参加者からは「小国の外交力に学んで、軍事大国日本をめざす動きに、断じてNOを突きつきたいと心から思いました」「ASEANの歴史や働き・成果を詳しく分かりやすく広げることが重要だと感じた」などの感想が寄せられました。

中央区平和委員会は、視聴会で、開会集會4人、午後の分科会4人のほか、個人視聴2人が参加しました。

参加者からは「世界から見たアジアの情勢を踏まえ、日本がどういう役割を果たすべきか、そして日本の運動の重要性など考えさせられ、とても刺激的だった」と感想が寄せられました。

目黒平和委員会は、開会集會の視聴会を行い、土建の青年が司会をし、7人が参加しました。参加者のほとんどが初参加で、勉強していききたいとの声がありました。

豊島平和委員会では、3人で視聴会をしました。この他に、立川平和委員会、えどがわ平和委員会、あかつき平和委員会が視聴

会に取り組みました。

東京の視聴会は、中央実行委員会の会場に参加し延べ16人が参加しました。

東京での平和大会学習パンプは880冊普及し、学習を土台に取り組みました。岸田大軍拡・軍事国家への大転換を許さない世論と運動を広げるために、宣伝行動を強め、岸田政権を追いつめていきましょう。

文京連絡会 定期総会開く

9条を軸とした平和憲法を支えに軍拡競争を止めよう

12月6日、文京区民センターで、平和委員会・原水協・区職・日本共産党区議団が所属する「文京連絡会（民主主義と平和憲法を守る文京連絡会）」は、第23期（2022年度）定期総会を開きました。講師のほかに会員ら7名が参加しました。

総会に先立ち、まず「岸田政権は改憲をどう進めているのか」と題して、澤藤統一郎弁護士の講演を行いました。

澤藤弁護士は、岸田政権は「ハトの卵から鷹が生まれた」と語り、改憲姿勢が露わになった諸点を次のよ

うに指摘しました。

岸田総裁は「憲法改正推進本部」を「実現本部」とした。そして参院選で改憲勢力は自・公・維新・国民となり、衆院憲法審査会は、緊急事態条項に絞って実質審議が進行している。

ロシアのウクライナ侵略によって、日本国民の意識は「自衛のための軍事力増強は不可避」となり、中国や北朝鮮の《脅威》に乗じて「敵基地攻撃能力」の保有、軍事費GDP2%まで出され、「専守防衛」は放棄された。

また、澤藤氏は、憲法を卵にたとえ、黄味は人権（平和的存在権）であり、それを囲む白味は平和、民主主義（三権に基づく）である。実際に戦争が起きたらどうするかは、憲法は記していない。つまり、どこまでも9条を軸とした平和を守るために力を尽くすべきであり、やせ我慢でも軍拡競争は止めよう、と力強く結びました。

講演は多岐にわたる濃密な内容だっただけに、参加者が少なかつたことが残念でした。

次いで総会に移り、改憲阻止、大軍拡・自衛隊強化反対、オスプレイ配備撤回、

土地利用法監視、日米地位協定改定などの次期方針が提起・採択され、役員体制の継続が確認されました。文京平和委員会 川田正美

オスプレイはいる東京大集会 中央区からバスで参加

横田基地にオスプレイは知らない11・13東京大集会に、東京・中央区からは、実行委員会を作ってバスで参加しました。バスの中では安藤晴雄さんがオスプレイの構造的欠陥とその問題点、横田の基地強化の現状などについてレクチャーし学習しました。バスでの参加は13人。電車での参加と合わせて計20人の参加でした。

参加者の一人が入会しました。参加者からは「高校生、



大学生の平和ゼミナールの皆さんの訴えが新鮮だった」

「要人暗殺などを任務とする特殊作戦部隊のCV-22が首都の基地に配備されていることの恐ろしさが分かった」などの感想が寄せられました。中央区平和委員会 長谷川浩二

2023年 学習と運動交流の集い

安破中央実行委員会 は「2023年 学習と運動交流の集い」を、オンラインを兼ねて開催します。

岸田政権の進める「安破関連3文書」改定のねらい、大軍拡の内容などについて学び、2023年の運動について意思統一と交流を行ないます。

日時・1月28日（土） 午後1時～4時
会場・エデュカス東京 地下会議室

講演「『戦争準備』の岸田大軍拡とどうたたかうか」（仮題）講師・小泉親司さん（安破中央実行委員会 常任幹事）

報告・沖繩のたたかい（瀬長和男さん）ほか
*2023年のたたかいについての提起・安破中央

中央実行委員会

*討論と運動の交流
参加・オンライン兼用
申込は、安破中央実行委員会のホームページから。参加者には事前に参加案内と資料を送付します。
締切1月25日（水）

百里・梨まつりバスツアー

憲法9条の力で誘導路を「く」の字に曲げた「百里基地闘争」の地に行こう！
航空自衛隊百里基地（茨城県小美玉市）の真ん中の「平和公園」（反戦一坪運動の土地）で毎年開催。平和公園正面の旧射撃場山には「自衛隊は憲法違反」の看板が掲げられ、祠（ほこら）には「憲法9条」がまつられています。地元の農民、反対同盟や支援する仲間達と交流しましょう。

2月11日（土・休日）午前8:30 新宿西口集合・出発
主催・東京平和委員会 協賛・自衛隊をウオッチする市民の会

参加費・一般5000円 大学生以下4000円
（往復交通費・現地参加費・資料代）
申込・問合せは東京平和委員会まで。